旅館・施設・団体

旅館協会北海道の11月宿泊実績
コロナ禍前比35％減

日本旅館協会北海道支部連合会は10日、宿泊実績調査の11月の結果を発表した＝表。対象施設112軒のうち99軒が回答。前年同月比で宿泊人員は11・4％減、コロナ禍前の2019年の同月比では35・1％減となった。

宿泊人員の月別の前年同月比は、7月から8月にかけて減少に転じ、9月は46・9％減、10月は30・5％減と減少が続いた。

11月の宿泊人員の内訳は、訪日客は前年同月比で37・2％減、国内客は同11・4％減だった。

10月15日から道民対象の宿泊割引事業「新しい旅のスタイル」が期間限定で再開し、11月1日には同事業の道内の域内制限が解除された。期間が12月5日まで延長され、同居者以外との旅行も対象となるなど、旅行喚起の動きが道内全域に広がった。

回答旅館からは、11月の動向について次のような声が上がった。

「地域のふるさと割引で10％増になった」

「長期連泊のお客さまが多い。土曜日の人出もかなり多い」

「11月としては生暖かな月だった。新しい旅のスタイルにより昨年以上の宿泊があり、昨年に続き月目標を達成できた」

「新しい旅のスタイル効果もあり週末にかけ直近での動きが見られた」

「新しい旅のスタイル割の影響で週末はほぼ満室近くまで稼働した。ただし、平日はなかなか入らず厳しかった」

「新しい旅のスタイルにより動きは見られたが、週末に寄っており、Go To実施の前年は下回る結果」

「新しい旅の予約が好調で前年と比べても落ち込みは少ないが、割引終了後の逆リバウンドに一定の不安を感じる」

2021年11月の北海道宿泊実績（前年同月比）

地区		回答旅館軒数	宿泊人員（％）
根室・標津・川湯・摩周温泉		7	143.7
知床・ウトロ温泉・岩尾別温泉		7	61.9
阿寒湖温泉		7	66.2
釧路・釧路近郊		3	111.7
十勝川・然別湖・帯広・帯広近郊		6	90.6
利尻・稚内		3	84.7
網走・網走湖・北見・温根湯温泉		7	93.5
大雪層雲峡・旭川・美瑛・富良野		8	81.4
登別温泉・カルルス温泉		7	96.9
洞爺湖温泉・支笏湖・日高・えりも		12	79.5
小樽・朝里川温泉・札幌・空知		8	104.5
定山渓温泉・小金湯温泉		7	124.7
余市・倶知安・ニセコ・岩内		6	81.4
函館・湯の川・松前・江差・八雲		11	69.6
合計	国内客宿泊人員	99	88.6
	訪日客宿泊人員	81	62.8
		99	88.6

2021年11月の東北宿泊実態調査の結果

	回答施設数（軒）	宿泊人員 2020年同月比（％）	宿泊人員 2019年同月比（％）
青森県	12	91.9	98.1
岩手県	22	93.3	79.9
秋田県	7	76.3	93.8
宮城県	22	102.0	88.0
山形県	19	68.6	67.9
福島県	18	94.2	79.3
合計	100	91.7	82.9

旅館協会東北の11月宿泊実績
一昨年比17％減

日本旅館協会東北支部連合会はこのほど、宿泊実態調査の11月の結果をまとめた＝表。対象施設105軒のうち100軒が回答。東北6県合計の宿泊人員は前年同月比8・3％減、2019年同月比でも17・1％減となった。

11月は新型コロナウイルス感染者数の減少と、各県で始まった県民対象の宿泊割引事業の影響で入り込みが回復しつつあると回答した施設が見られた。「コロナ前まで戻った」という声の一方、「コロナ前比ではまだ半分程度」との声もあった。

客室利用率は61％
ANHA、11月

全日本ホテル連盟（ANHA）が12月8日に発表した会員ホテルの11月の全国平均客室利用率は60・9％で、前年同月比2・4ポイント増となった。

11月は「ビジネス、工事関係者の宿泊が増加し、週末の観光利用も若干ながら増えてきている」とANHA。12、1月については「伸び悩んでいる」としている。

調査は236会員ホテルのうち130軒から回答を得た＝表。

地域別での利用率のトップは84・3％の北陸。次いで、82・2％の北海道、70・2％の甲信越など。

利用率が低かった地域は、41・7％の四国、45・2％の中国、53・4％の東海など。

前年同月比で利用率が最も上がった地域は北海道で、28・9ポイント増だった。

11月 地域別客室利用率

地域	利用率（％）	増減（ポイント）	地域	利用率（％）	増減（ポイント）
北海道	82.2	28.9	北陸	84.3	13.9
東北	65.9	−4.0	近畿	62.7	3.0
関東	59.6	7.6	中国	45.2	−11.8
甲信越	70.2	7.4	四国	41.7	−19.0
東海	53.4	−10.7	九州	63.7	−5.2

出所：全日本ホテル連盟

山崎まゆみの「ちょっとよろしいですか」第78回

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

2021年は緊急事態宣言の日々が続きましたが、それでも私はよく旅をしました。1年の旅を振り返った時に思い浮かぶのは、現地で汗を流し、熱く語る人の表情です。

先日、1次産業が主な収入源で、これから観光に力を入れるためにDMOを作ってまだ数年という地域の方から、「地域連携といっても、コミュニケーションの取り方は難しい。他の地域はどうしているのだろう」と質問を受けました。そこで、さまざまな地域の成功例と失敗例をリサーチしました。

本紙読者は練達された現場の皆さんですので、私から申し上げるのは大変せんえつですが、思うことをつづります。

地域連携の要は「人」です。うまくいかなかった事例には共通点があります。コミュニケーションが取りにくいほど人間関係が悪化している地域。こうした地域は、得てして人気観光地。そもそも地域連携の努力などせずとも集客できる地域です。

また、行政がリーダーシップを取ると頓挫してしまうことがままあります。どんなに情熱を持たれた行政の方でも、組織に属している以上、異動は避けられません。私も熱意ある行政マンと企画立案したものの、その方の異動により実現できなかった苦い経験があります。だからといって行政の力がなければ地域連携は成り立ちません。ぜひ、行政の皆さんには強力なバックアップをお願いします。

では成功に至るパターンですが、強いリーダーシップを発揮される民間の方がいて、さらにリーダーと伴走する名参謀の事務方がいること。その2人が腰を据えて、根気強く地域を率いる場合は、見事に成功しているように見受けます。

地域連携の成功の法則

例えば佐賀県の嬉野温泉は、全旅連の会長も務められ、カリスマ性がある小原健史さんがリーダーとなり、小原さんの理念を具現化する事務方がいました。旅館ホテル等の事業者さんとの調整や行政との折衝事を担当したプレイヤーです。この2人のコンビネーションと、その考えに共感した地元の皆さんとの歩みで、嬉野温泉はユニバーサルツーリズムの先進事例となりました。

もう一つの成功事例は「雪国観光圏」です。

雪国観光圏の代表であり、新潟県越後湯沢温泉の株式会社いせん代表取締役・井口智裕氏さんとは長いお付き合いですが、改めて地域連携の心得を教えていただきました。

雪国観光圏のスタートは、2004年の新潟県中越地震による風評被害から復活するために、ネスパス新潟で開催された「若旦那シリーズ」事業だったそうです。逆境から立ち直るために、地域の人と手を携えて企画を共にした経験が、現在の人とのつながりの基礎を作ったといいます。

井口さんが講演でよくお話しされる「地域づくりに関わる人に必要な四つの資質」を挙げてみます。

一つ目は「自分の商売をきちんとできる人」。目の前の課題を超えられない人は、他人の仕事にまで関わるべきではないでしょう。

二つ目は「視野が広い人」。世界を知っていて、長い時間軸で現状を俯瞰できる人。

三つ目は「人の縁をつなげられる人」。自己欲求だけではだめで、利他の精神を持つ人。

四つ目は「打たれ強い人」。批判や反対されても、続けられる精神力を持つ人。

「この四つの資質を持った人間同士が最低3人集まって合宿すれば、何か生まれます」と井口さんはおっしゃいます。

また、「市町村でもない、県でもない雪国観光圏。だからこそみんなが熱くなれるのです。圧倒的なカリスマが作り上げた地域連携ではなく、『雪国』という理想をみんなで夢見て動いた結果だと思います。自分たちが愛している『雪国』が、雪のせいで現代社会の中で疎んじられている。そのことに葛藤を感じた人たちが、私も含めてみんな雪国観光圏という信仰にハマったのです」。冷静に分析し、言語化できているリーダーの井口さんの能力に感服です。

そんな井口さんは、2021年度観光庁長官表彰を受けました。

（温泉エッセイスト）

※月2回掲載

喫茶店とコラボ
朝食付きプラン販売
SARASA HOTELなんば

Aセット

SARASA HOTELなんば（大阪市浪速区）は喫茶店「松竹」（同）とコラボレーションした朝食付き宿泊プランを販売している。

「日光を食べ尽くそう」
日光市観光協会などが誘客促進キャンペーン

日光市観光協会日光支部（栃木県日光市）と日光旬旅倶楽部（同）は、日光の食材をより広く発信することを目的に「日光を食べ尽くそう」キャンペーンを実施している＝**写真はポスター**。9月30日まで実施予定。

「あまり知られていないが、意外と豊富な日光産の食材を広くPRし、食を通じた誘客促進及び地域活性化を図る」が同キャンペーンのメインテーマ。特設サイト（https://www.nikko-tabetsukuso.net/index.html）では、日光産食材を紹介すると共に日光産食材を使用したメニューを提供している店舗（宿泊施設、飲食店など）の情報を掲載している。参加店舗は「世界遺産エリア」「中禅寺エリア」「湯元エリア」「足尾エリア」に区分され、利用者は市内日光エリアを中心に広範囲の店舗で地元の食材を堪能できる。SNS投稿キャンペーンも実施しており、掲載店舗で日光産食材が使われている料理を食べた際の写真をSNSに投稿すると、投稿者にはポストカードが贈られ、抽選で宿泊利用券などの賞品が贈呈される。

日光千姫物語などを運営する春茂登グループの根本芳彦社長は、「東照宮をはじめ観光スポットのイメージを日光に対して持つ方が多いと思うが、実は野菜から畜産、米に至るまで、さまざまなおいしいものがそろう食の宝庫でもある。ぜひ各店舗で日光の美味に触れてほしい」と呼び掛ける。

問い合わせは同サイト、同市観光協会日光支部☎0288（22）15225。

コロナ禍を乗り越える
宿経営サバイバル塾 16
全旅連ポストコロナ調査研究委員会

新型コロナウイルスの感染は、この夏の「第5波」ではピークに達し、8月中旬に全国の1日の感染者数が2万5千人を上回り、猛威を振るい続けていたが8月下旬以降、一転して急速に減少した。

患者数の減少理由は、ワクチン接種の効果に加え、医療が危機的状況に陥ったことが広く報道されたことで、一般の人たちが感染対策に積極的に協力するようになったこと。受け入れ側の施設でも徹底した衛生管理を行い、7月下旬から8月にかけての夏休みや盆休みも間引き営業や宿泊人数制限の下で厳しい営業を行ってきたことなどさまざまなことがあげられる。

感染者数の減少に伴いコロナ感染拡大防止のための厳しい規制も解除され始めたが、寒くなって乾燥するとウイルスの感染力が強くなり、12月や1月の帰省や旅行などで人流が盛んになると再び猛威を振るうとされる第6波を警戒してか行動が慎重になっている。

同様に先日政府がGoToトラベル再開を2月に考えている旨の報道があった。それも一理あるが、われわれ宿泊業界は現在置かれている苦境から1日も早く脱することが先決だ。そのためにも今まで同様の衛生面の徹底は順守して、リバウンドを防ぐことが大事だ。

コロナ疲れはわれわれだけではなく多くの国民も感じている。新年会や移動も昨年より慎重に対策をしたい。気を緩め感染拡大にならぬよう引き締めたい。

また同時並行で長引くコロナ禍で資金繰りに苦慮する多くの宿泊施設に追加融資や返済猶予など国と協議をして早急に実行しなければならない。深刻な人手不足に対しても手を打たなければコロナが落ち着いた後では労務倒産となりかねない事態になる。もはや自助努力では解決できない施設も多い中、業界団体一丸となり取り組んでもらいたい。

感染防止に気を緩めず

いずれにしても、コロナは現時点でまだ収束しておらず、すぐには解決しない問題だ。宿泊客が戻るためにも、感染防止への十分な対策をとりながら、今それぞれの宿や観光地は何をなすべきかをもう一度考え直したい。

（委員・佐藤康＝岩手県繋温泉・湯守ホテル大観）

◇　◇

【委員会より】

世間の話題は新しい変異株「オミクロン株」でもちきりです。12月初旬の段階では、国内の感染者数は落ち着いていますが、佐藤委員のコメントにもあるようにコロナ禍は収束しているわけではありません。特に観光業、宿泊業に携わる者としては、これからの対応こそ、重要な時期を迎えるものと考えます。

コロナ特別融資や雇用調整助成金の特例等でやりくりしてきたこの20カ月から日常を取り戻す過程でも資金需要は発生します。その際にその時点の負債が問題視されることはあってはならないと考えています。

個々の宿泊業者だけでなく、団体としても声を発していかなければなりません。

＝隔週掲載

飛騨を訪れるなら二つのお宿より…

穂高荘山のホテル

穂高荘山のホテル　新穂高温泉　政府登録ホテル
〒506-1493 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷神坂577-13
TEL. 0578(89)2004(代)　FAX. 0578(89)2770
北アルプスの主峰・槍ヶ岳が玄関より望める北欧調のリゾートホテルです。300坪の野天混浴風呂は一度に200名入浴可能。また、館内には足湯をはじめ男女別の露天風呂もあり、温泉の醍醐味を十分にお楽しみいただけます。

穂高荘山の庵（いおり）　飛騨高山
〒506-0008 岐阜県高山市初田町1-58
TEL. 0577(34)2272(代)　FAX. 0577(33)5793
情緒ある飛騨高山の町並みに佇む小粋なお宿です。懐かしい“昭和”な空気感ただよう客室に、レトロ調のお風呂。JR高山駅から徒歩5分！旅の起点として、とても便利です。

穂高荘ホテルズ・リゾート　https://hodakaso.co.jp/

VIEW HOTELS

浅草ビューホテル

成田ビューホテル

伊良湖ビューホテル

両国ビューホテル

札幌ビューホテル 大通公園

大阪ビューホテル 本町

●おくたま路　●那須高原ホテルビューパレス
●ホテルグリーンパール那須

提携ホテル
●ぎょうけい館
●郡山ビューホテルアネックス
●ホテルグランビュー沖縄
●ホテルグランビュー石垣新川
●ホテルプラザ菜の花
●平ビューホテル
●ホテルグランビューガーデン沖縄
●ホテルグランビュー福岡空港
●郡山ビューホテル
●岡山ビューホテル

～遠くとも　一度は詣れ善光寺～
信州 善光寺御開帳
令和四年四月三日～八十八日間開催　個人から団体まで大歓迎!!

源泉100％かけ流し
最高の温泉を心ゆくまでご堪能いただけるよう
湯守が一日中湯量、湯温等の調節管理を行っております。

露天風呂付き客室「一茶の間」
信州プレミアム牛会席
屋上貸切露天風呂

信州湯田中温泉
一茶のこみち 美湯の宿
〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町湯田中温泉
https://yudanakaview.co.jp / TEL:0269-33-4126

ここにしかない富士がある。

富士山を望む河口湖畔の宿
秀峰閣湖月
秀峰閣湖月 SHUHOUKAKU KOGETSU
〒401-0304 山梨県南都留郡富士河口湖町河口2313
TEL. 0555-76-8888　FAX. 0555-76-8940
http://www.kogetu.com/